

フレック食品工業 株式会社

「恐竜弁当」が誕生

「恐竜」と「福井の食」をキーワードにした弁当、「恐竜のお話一鶏三昧弁当」が、22日に北陸自動車道上りの南条サービスエリア(SA)にお目見えする。容器は恐竜の卵を模し、外箱には恐竜のペーパークラフトを印刷。恐竜フィギュアも付くなど遊び心満載で、子どもはもちろん、全国の恐竜好きのハートをがっちりつかみそうだ。(北原愛)

県産食材ふんだん／フィギュアも付けて

食品企画などの「あさくら」(永平寺町諏訪間)が、一個千五百円で販売する。弁当の自身は「恐竜ずくめ」。「鳥類は恐竜から進化した」との説を踏まえ、鶏ひき肉のハンバーグに、鳥肉のみそ煮井や鶏の空揚げを取り入れた。どれも県産鶏を使い、ハンバーグは恐竜の顔をかたどった「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」のロゴマーク型にした。他の食材も、勝山市産コシヒカリ、越前産のタケノコに大野市のサトイモと県産にこだわりのデザートは水ようかんとして、福井の食の魅力を詰め込んだ。卵のように盛り上がった外ぶたの中には、ティラノサウルスやステゴサウルスなど人気七種の精巧なフィギュアのうち一種が入っており、何が「誕生」するかは開けてのお楽しみとなっている。

22日に南条SAでお目見え



官民が連携し、恐竜や食など福井の魅力を詰め込んだ「恐竜のお話一鶏三昧弁当」=18日午前、福井市西木田2丁目の福井商工会議所ビルで

力し、あさくらを含む「フレックグループ」として商品化にこぎ着けた。十一月下旬には、えちぜん鉄道勝山駅でも発売を始め、来年一月には東京、大阪の百貨店イプのフレック食品工業へ電07ベントでの販売も決定した。76(63)3633311へ。

「勝山、福井の魅力満載。遠足や観光ツアーなどへも売り込みたい」と齋藤真理夫・あさくら社長。パッケージには、恐竜や福井にまつわる小話も載せており、勝山市産業振興支援室の松山滋貞室長は「見盛りがたくさん。販路開拓を後押ししたい」と意気込む。